

整理番号	02-0978
区分 (事務局記入欄)	<input type="checkbox"/> 臨床研究(<input type="checkbox"/> 受託・共同 <input type="checkbox"/> 院内) <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 医薬品 <input type="checkbox"/> 医療機器 <input checked="" type="checkbox"/> その他

医学研究に関する情報公開文書

西暦2024年 12月 25日

研究課題名	進行膵癌患者に対する nab-paclitaxel + gemcitabine 施行中の骨格筋量減少に関連するリスク因子の検討
研究実施期間	開始 西暦 2025年 1月 8日 ~ 終了 西暦 2025年 9月 30日 (予定)
研究の対象となる方 (予定症例数)	2015年1月~2023年11月に当院で1次化学療法としてAG療法を施行した96人の進行膵癌と診断された患者
研究の目的・方法	[目的] 進行膵癌患者に対する1次治療AG開始時点で骨格筋量が保たれている患者は、2次治療への移行率が高く、また、AG施行中に骨格筋量が増加した患者は2次治療への移行率が高く、骨格筋量の維持・増加の重要性を、我々が過去に報告しました。骨格筋量減少に関連したリスク因子は明らかではなく、さらなる支持療法の開発を目的として、骨格筋量の減少に関連した因子の同定は臨床的意義が高いと考え、本研究を計画しました。 [方法] 2015年1月から2023年11月までに当院にて1次化学療法としてAGを受けられた進行膵癌患者96名が対象です。96人のうち、27人(28%)が骨格筋量が増加し、69人(72%)が骨格筋量が減少していました。骨格筋量が増加した群と減少した群に患者群をわけて、臨床的背景を比較するとともに、骨格筋量減少のリスク因子を統計的に検証します。
研究に用いる試料・情報の種類	既往歴、生年月日、化学療法導入日、CT画像等のカルテ情報
問い合わせ先	<ul style="list-style-type: none">・本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。・ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。・また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 <p>地方独立行政法人市立東大阪医療センター 研究責任者：臨床腫瘍科 <副部長> 家出 清継 住所：大阪府東大阪市西岩田三丁目4番5号 TEL:06-6781-5101</p>